

取組名	合同避難訓練		
特徴	本校避難訓練及び厚狭小学校三次避難の支援		
学校名	山陽小野田市立厚狭小学校 県立厚狭高等学校	期日	平成30年11月6日(火)

1 ねらい

- 突然の地震とそれに伴う火災発生を想定し、避難場所まで整然と避難する訓練を行うとともに、厚狭小学校全校児童が津波回避のため本校へ避難してくる際、誘導等の支援を行うことで、生徒の防災意識を高め、自助・共助等防災対応能力の向上を図る。
- 本校教職員の火災予防知識の向上と本校の防火体制の整備を図ることにより、防火管理の徹底を期す。



本校生徒による避難誘導①

2 概要

(1) 取組の流れ

平成29年度から厚狭小学校との連携で、本校では地震に伴う火災に対しての訓練を行うと同時に、近隣学校である厚狭小学校の地震による津波への対応として厚狭高校へ避難する児童の支援を行うことで、本校生徒の防災意識向上を図るため実施した。

実施に当たっては、地元の少年安全サポーターや山陽消防署、山陽小野田市総務課危機管理室の職員から御指導をいただくことで、生徒及び教職員も防災対応能力の向上を図ることとした。

(2) 当日の流れ

- 9:38 [厚狭小]放送による緊急地震速報
- 9:45 [厚狭小]一次避難完了→児童を本校へ避難誘導開始
- 9:45 [厚狭高]放送による緊急地震速報
- 9:47 [厚狭高]非常ベル、119番通報、避難指示
(並行して消火班の教職員は消防署員の指導の下、消火栓を使用して消火訓練)
- 9:57 [厚狭高]生徒避難終了(グラウンド)、点呼・報告
- 10:05 厚狭小児童及び誘導生徒避難終了
- 10:10 指導・講評
(少年安全サポーター、消防職員、危機管理室職員)



本校生徒による避難誘導②



少年安全サポーターによる交差点誘導



厚狭高校グラウンドに集合

3 成果と今後の課題等

(1) 成果

平成29年度からの試みで、小学生の避難誘導を支援することにより本校生徒の防災意識をより一層高めるという当初の目的を達成することができた。特に、誘導にあたった生徒は小学生の真剣な訓練の様子に、援助の必要性を改めて感じたようである。

誘導生徒の適正なサポートにより厚狭高校までの避難途中に事故やトラブルもなく、無事安全に誘導することができた。

(2) 課題

小学生誘導の際、児童に対する声掛けがまだ不十分であることを市の職員の方から御指導いただいた。誘導生徒だけでなく、教職員も誘導時の安全をサポートする声かけをしっかりと行える指導力の向上が必要である。また、この合同訓練を機に厚狭小学校とその他の連携も模索する必要性を感じた。



消防署職員による講評